

2016年度  
晃華学園中学校

第1回  
入 学 試 験 問 題

【 社 会 】

時 間：35分  
配 点：75点

---

答えはすべて解答用紙に記入すること。

---

問題は次のページから始まります。

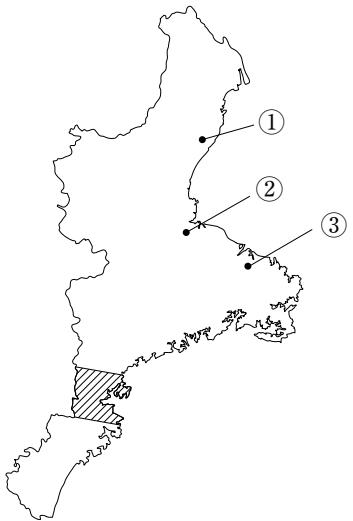
1 次の地図を見て、後の各問い合わせに答えなさい。

問1 この県では、2016年5月に、世界中の政治指導者が集まる国際会議が予定されています。この会議を何といいますか、答えなさい。

問2 地図中①の都市は、自動車工業がさかんなことで有名な都市です。この都市の名前を答えなさい。

問3 地図中②の都市は、ブランド牛の飼育がさかんなことで有名な都市です。この都市の名前を答えなさい。

問4 地図中③の都市にある寺社の写真として、正しいものを次から1つ選び、記号で答えなさい。



※一部の離島は省略しています。



(ア)



(イ)



(ウ)



(エ)

問5 この県の斜線部の地域は、日本で有数の多雨地帯となっています。なぜ、この地域で雨が多くなるのか、その理由を説明しなさい。

2 次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。

市川房枝は1893年、①愛知県に生まれ、教育熱心であった②父親のもとで、教育を受ける機会に恵まれました。女子師範学校を卒業した後、教員や新聞記者になりました。この頃、日本では大正デモクラシーといわれる民主主義を求める運動がさかんになり、③市川も女性の権利を拡大するために、この運動に参加していました。

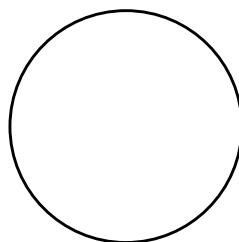
しかし、戦争の時代に入ると、こうした運動を行っていくことは難しくなりました。1920年代後半になると、軍部への支持が高まり、1931年に④満州事変が起きました。さらに、1937年に起きた日中戦争が長期化すると、⑤戦時体制が作られ、戦争に協力するための組織もできました。例えば、⑥1940年には各政党が解党し、 A が結成され、市川もこれと関連した組織の一員となりました。

太平洋戦争終結後、市川は、戦時体制に協力していたことから公職を追放されました。その後、追放は解除され、市川は⑦1953年に当選し、1981年まで<sup>かつやく</sup> 参議院議員として活躍しました。

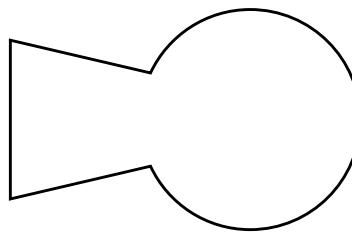
問1  A にあてはまる語句を答えなさい。

問2 下線①について、次の各設間に答えなさい。

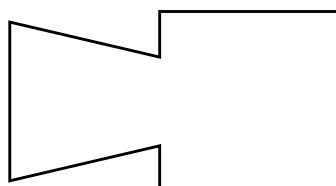
(1) 愛知県には大須二子山古墳おおすふたごやまがありました。大須二子山古墳は大型であり、大仙古墳と同じ形の古墳です。大須二子山古墳の形として、正しいものを次から1つ選び、記号で答えなさい。



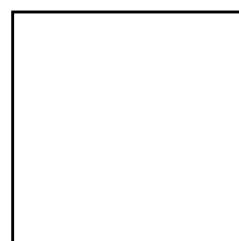
(ア)



(イ)



(ウ)



(エ)

(2) 大須二子山古墳からは、5世紀に渡来人によってもたらされた土器が出土しました。この土器を何といいますか、答えなさい。

(3) 愛知県は、江戸時代に御三家の一つである尾張徳川家が治めていました。尾張徳川家のように、徳川家の一門である大名を何といいますか、答えなさい。

問3 下線②について、次の各設間に答えなさい。

(1) 市川房枝の家があった村は、中山道に面していました。和宮が徳川家茂の妻になるために江戸に向かう際の行列が通過した時に、市川の父親は荷物を運んだようです。なぜ、幕府は和宮を徳川家茂の妻としてむかえたのですか、その背景と目的を説明しなさい。

(2) 市川房枝の両親は、浄土真宗の信仰を持っていました。現在の石川県にあたる地域では、かつて浄土真宗の信者たちが守護を倒し、その後100年間自治を行いました。この出来事を何といいますか、答えなさい。

問4 下線③に関連した以下の文章を読み、次の各設間に答えなさい。

1889年には大日本帝国憲法が発布され、同時に衆議院議員選挙法も制定されました。翌年には選挙が行われ、第一回  が開かれました。

このことについて、ある歴史家は、1890年は、市川房枝たちにとっては「奪われた年」であると表現しています。

(1)  にあてはまる語句を漢字4字で答えなさい。

(2) 波線部について、なぜ、この年を「奪われた年」と表現しているのか、説明しなさい。

(3) 下線③の頃に市川が参加していた団体を何といいますか、答えなさい。

問5 下線④について、この頃に起こった次の出来事を、年代順に記号で並べなさい。

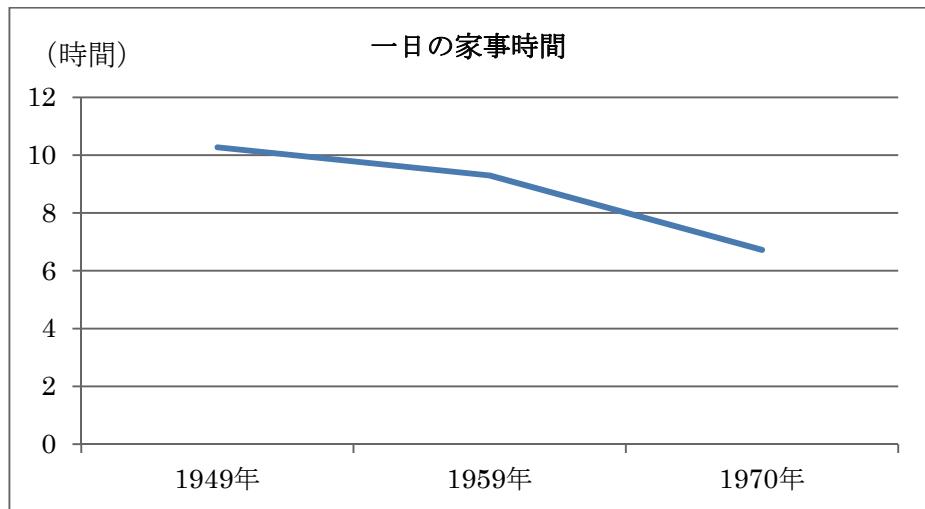
- (ア) 関東軍により南満州鉄道が爆破された。  
(イ) 昭和恐慌が始まり、失業者が町にあふれた。  
(ウ) ニューヨークのウォール街で株価が大暴落した。  
(エ) 軍人によって首相が殺され、政党政治が終了した。

問6 下線⑤について、戦時体制となり物資が不足すると、食糧や生活用品の価格・数量を政府が管理し、右の写真のように国民は決められた場所で食糧や生活用品を入手しなければならなくなりました。このような制度を何といいますか、答えなさい。



問7 下線⑥に日本は二ヵ国と同盟を結びました。二ヵ国の国名を、それぞれ答えなさい。

問8 下線⑦の時期は、以下のグラフのように、一日の家事時間が変化しました。その理由について、写真を参考にしながら説明しなさい。



【赤羽台団地のキッチンの再現】(写真は国立歴史民俗博物館にて撮影)

※赤羽台団地は1962年に建設された団地です。

3 次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。

インターネットに代表される①コンピュータ・ネットワークの発達は、あ  
あという従来の②マスメディアの限界を打ち破り、そうほうこう双方向性（インタラクティブ）のコミュニケーションを可能にしました。

また、今日では、IT（情報技術）革命の進展によって、企業と企業、企業と消費者、消費者と消費者の間を結ぶネットワークが、国境を越えて張りめぐらされ、いつでも、どこでも、だれでも、ネットワークを通じて情報のやりとりが出来る社会となりました。このような社会を「い社会」とよびます。

このような社会の進展は、個人の生活を便利で豊かなものにしてきましたが、一方では③多くのかか問題も抱えています。

問1 下線①は、コンビニエンスストアで多く活用されています。コンビニエンスストアでのコンピュータ・ネットワークの活用状況の説明として、正しいものを次からすべて選び、記号で答えなさい。

- (ア) 商品の情報をPOSシステムで管理しているので、本部は、その店の売れ行きのよい商品だけを発送することができる。
- (イ) 銀行が閉まっている時間でも、消費者は、公共料金の納付や現金の引き出しなどを行うことができる。
- (ウ) 官公庁が閉まっている時間でも、消費者は、出生届や婚姻届などのさまざまな書類を提出することができる。

問2 あにあてはまる文を考えて、答えなさい。

問3 下線②について、下の表はマスメディアの特色についてまとめたものです。

A	専門分野についてくわしく紹介することができる。また、記録・資料として活用されることもある。
B	動画や音声で情報を伝える。家族など、集団で利用されることが多い。
C	音声だけで情報を伝える。車や電車などの移動中に利用されることが多い。

(1) 表のA～Cにあてはまるものを、それぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 新聞
- (イ) ラジオ
- (ウ) テレビ

(2) マスメディアには、立法権・行政権・司法権を監視する役割があるといわれてきました。しかし、近年は、これらに次ぐ「第4の権力」といわれることがあります。なぜ、マスメディアが「権力」といわれるようになったのですか、説明しなさい。

問4 いにあてはまるカタカナの用語を答えなさい。

問5 下線③について、大量にある情報の中から、自分にとって本当に必要な情報を自分で選び出し、活用する能力や技術のことを何といいますか、答えなさい。

- 4 小学校6年生の社会科の宿題で「人権について、身近な人から話を聞こう」というレポートがあり、K子さんは次のようにまとめました。次のK子さんのレポートを読んで、後の各間に答えなさい。

テーマ：人権について

授業でも学習したように、日本国民には自由権をはじめ平等権や社会権など、さまざまな人権が①日本国憲法で保障されています。そして、わたしたちの身のまわりには、人権に関するさまざまな問題があることも学びました。今回は、私の家族に人権についての話を聞きました。

○父親の話

マスコミ関係の仕事をしている父は、人権のなかでも「②表現の自由」がもっとも大切だと言っています。自分の意見を伝える「表現の自由」は民主主義の基本になるそうです。

○母親の話

看護師をしている母によると、患者が自分の治療方法を決める権利など、③憲法に規定のない人権もこれからは重要になってくると言います。

○祖父母の話

戦前生まれの祖母によると、戦前は④結婚も今のように自由にできなかったそうです。今でも結婚だけでなく、社会生活において女性が差別されることがあるそうです。⑤女性の権利を守ることについては、私も大きな関心があります。

問1 下線①について、日本国憲法では憲法を守る義務がある人を明記していますが、憲法を守る義務がある人として誤っているものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 天皇 (イ) 国會議員 (ウ) 裁判官 (エ) 国民

問2 下線②について、「表現の自由」も必要最低限の制約を受けることがあります、その理由を説明しなさい。

問3 下線③について、日本国憲法に規定されていない人権として正しいものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 信教の自由 (イ) 生存権  
(ウ) 知る権利 (エ) 裁判を受ける権利

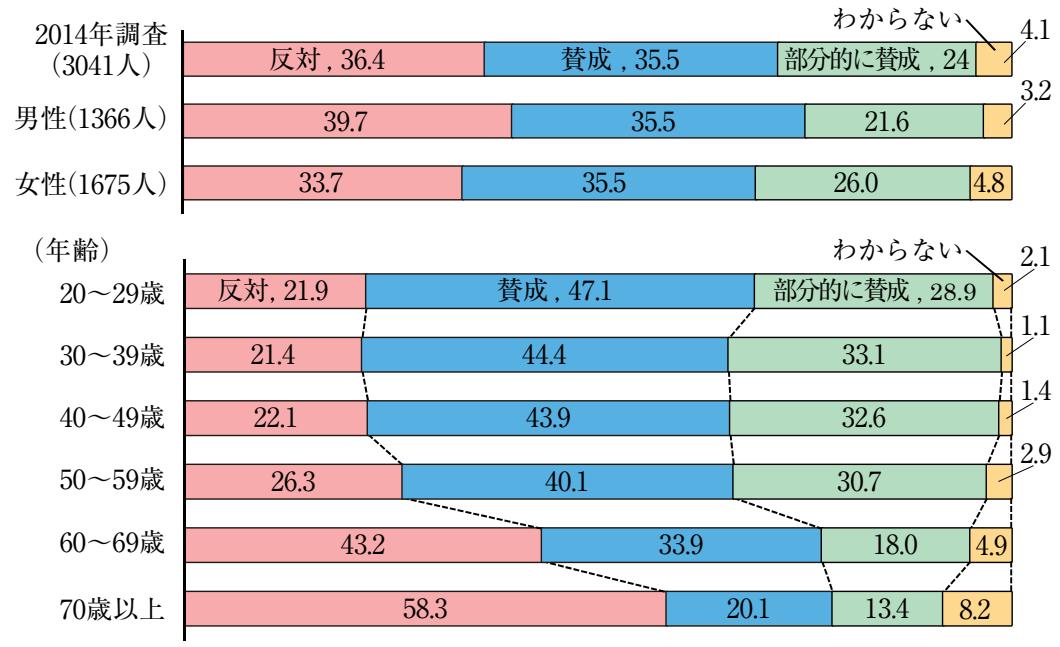
問4 下線④について、現在の民法は、結婚後の夫婦の名字（姓）は「夫又は妻の氏（名字）」のいずれかとすることを定めています。しかし、今日、男女が別の名字のままの結婚も法的に認めるべきだという選択的夫婦別氏制度の主張もなされるようになってきました。次の資料Aは選択的夫婦別氏制度に関する統計ですが、その内容として正しいものを下の（ア）～（エ）から1つ選び、記号で答えなさい。

資料A 選択的夫婦別氏制度に関する意識調査 [2014年]（内閣府データより作成）

反対…婚姻をする以上、夫婦は必ず同じ名字になるべきであり、現在の法律を改める必要はない。

賛成…夫婦が婚姻前の名字のままにすることを希望している場合には、夫婦がそれぞれ婚姻前の名字のままでいることができるよう法律を改めてもかまわない。

部分的に賛成…夫婦が婚姻前の名字のままでいることを希望していても、夫婦は必ず同じ名字になるべきだが、婚姻によって名字を改めた人が婚姻前の名字を通称として、会社などどこでも使えるように法律を改めることについてはかまわない。



- （ア）選択的夫婦別氏制度の導入に反対する人の割合は、年齢を重ねるほど段階的に高くなっている。
- （イ）選択的夫婦別氏制度に関して何かしらの法改正に賛成する人の割合は、どの年代でも反対派を上回る。
- （ウ）どの年代でも、法的に夫婦は必ず同じ名字になるべきだと考える人の割合が高い傾向にある。
- （エ）選択的夫婦別氏制度の導入に賛成する人の割合は、女性よりも男性のほうが高い傾向にある。

問5 下線⑤について、右のマークは「マタニティ・マーク」とよばれ、ある特定の女性が身につけているものですが、どのような目的があるのか説明しなさい。

